

(第三種郵便物認可)

報

南相馬復興へ 絵で街明るく

プロジェクト始動

小学生ら思い思いに描く

芸術による被災地支援を続けているNPO「ARTS for HOPE」(本部・東京)は「こどもたちのこどもたちによる街づくり」を掲げ、南相馬市の街を明るく「塗り替える」活動を始めた。

手始めとして一日、色とりどりの絵を描いた。地元の小中学生ら十人、協力者の原町高生、団体のスタッフらが参加した。



熱心に壁を塗る子どもたち

いくつかのデザイン案から選ばれたのは、団体の高橋雅子代表によれば「おもちゃ箱をひっくり返したようなワクワク感のあるもの」。道路に面した施設の外壁には足場が組み立てられ、いくつかの四角い区画に、担当した子どもたちが夢中になってはけでカラフルに色を塗っていた。

参加した宮寺楓さん(太田小三年)は「みんなと一緒に描いていくのが楽しい。かわいい建物になると思う」と話した。

団体は今後、原町区の公園や商店街のシャッターにさまざまな絵を描いて「変身」させていく。